

事例8

単元

尊敬する人物について伝え合う

(第3学年 全7時間)

英語の目標

「話すこと[やり取り]」イ

単元を通して育成を目指す資質・能力

質問をしたり答えたりしながらやり取りする力

学習評価のキーワード

「話すこと[やり取り]」における各観点の一体的な評価

※本事例では、平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果より、「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

尊敬する人物についてALTによく知ってもらうために、尊敬する人物に関する事実や考え、気持ちなどを簡単に整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりすることができる。

(2) 評価規準(「話すこと[やり取り]」の評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 受け身の特徴やきまりを理解している。 尊敬する人物について考えたことや感じたことなど、受け身などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 	尊敬する人物についてALTによく知ってもらうために、尊敬する人物に関する事実や考え、気持ちなどを簡単に整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりしている。	尊敬する人物についてALTによく知ってもらうために、尊敬する人物に関する事実や考え、気持ちなどを簡単に整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりしようとしている。

※ここでは、「話すこと[やり取り]」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「書くこと」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画(全7時間)

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>①上級生が尊敬する人物についてやり取りしているモデル動画を見る。</p> <p>②自己目標を設定する。</p> <p>■お勧めの食べ物について、事実や考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>③お勧めの食べ物について Interactive Teacher talk を聞く。</p> <p>④お勧めの食べ物について、マッピングを行い、ペアで伝え合う。</p> <p>⑤教師と生徒がやり取りを行いながら、対話を継続・発展させる方法(ストラテジー)を共有するとともに、受け身の特徴やきまりを理解する。</p> <p>⑥お勧めの食べ物について、マッピングを再構築し、再度、ペアで伝え合う。</p> <p>⑦ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>				<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・※帯活動のワークシート(📄p.7資料2)を参考に、対話を広げるよう促す(言語活動等⑥)。</p>

2	<p>■訪れたい場所について、事実や考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①訪れたい場所について Interactive Teacher talk を聞く。</p> <p>②訪れたい場所について、マッピングを行い、ペアで伝え合う。</p> <p>③教師と生徒がやり取りを行いながら、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を共有するとともに、受け身の特徴やきまりを理解する。</p> <p>④訪れたい場所について、マッピングを再構築し、再度、ペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動のワークシートを参考に、対話を広げるよう促す（言語活動等④）。
3	<p>■最近買ったものについて、事実や考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①最近買ったものについて Interactive Teacher talk を聞く。</p> <p>②最近買ったものについて、マッピングを行い、ペアで伝え合う。</p> <p>③教師と生徒がやり取りを行いながら、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を共有するとともに、受け身の特徴やきまりを理解する。</p> <p>④最近買ったものについて、マッピングを再構築し、再度、ペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動のワークシートを参考に、対話を広げるよう促す（言語活動等④）。
4 本時	<p>■教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。</p> <p>②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。</p> <p>③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。</p> <p>④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動のワークシートを参考に、対話を広げるよう促す（言語活動等④）。

5	<p>■教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。 ②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。 ③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。 ④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例） ・帯活動のワークシートを参考に、対話を広げるよう促す（言語活動等④）。</p>
6	<p>■教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。 ②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。 ③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。 ④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況（c）の生徒への手立て（例） ・帯活動のワークシートを参考に、対話を広げるよう促す（言語活動等④）。</p>
7	<p>■尊敬する人物について、考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①尊敬する人物についてマッピングする。 ②マッピングを基に、ALTとやり取りする。 ③自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	<p>ここでは、[記録に残す評価]を行います。</p> <p>○ ○ ○ [パフォーマンステスト] (☞p. 10)</p>

※本単元では、帯活動においてペアでやり取りする活動を毎時間継続して行います。

※第1時から第6時では、[記録に残す評価]は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、指導に生かします[指導に生かす評価]。[記録に残す評価]は、第7時の「パフォーマンステスト」において行います。

3 本時[第4時]

(1) 本時のねらい

教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。

(2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を読ませる前に、その内容を表したピクチャー・カードを用いて生徒とやり取りすることで、本文のキーワードに気付かせる。その際、教師自身が対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を用いて生徒とやり取りする（☞p. 8 資料3）。 おおまかな内容を捉えるために、教科書本文の内容を表にまとめるよう促す。
②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを基に、簡単なメモ程度のマッピングをするよう促す。 生徒の発話内容を確認する。
③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）に下線を引くよう指示し、生徒自身がそれらの有用性に気付き、意識的に使用することができるようにする。 下線を引いた部分を全体で共有し、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する（☞p. 9 資料4, 資料5）。
④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> マッピングを再構築し、自分の考えを整理するよう促す。 机間指導を行い、適宜、生徒が用いている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）や多く見られる誤りなどを取り上げ、全体で共有する。 ペア活動後、数名の生徒の発表を聞き、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を踏まえて対話しているかを確認する。
⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、英語使用の正確さ（言語面）と表現内容の適切さ（内容面）の視点から、全体にフィードバックを行う。

4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例における「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。

(1) 指導の進め方

「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」を高めるためには、単元や単位時間の授業において、あるトピックについて「考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする」言語活動を設定し、継続して指導を行うことが大切です（資料1）。

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)
3	<p>■最近買ったものについて、事実や考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①最近買ったものについて Interactive Teacher talk を聞く。 ②最近買ったものについて、マッピングを行い、ペアで伝え合う。 ③教師と生徒がやり取りを行いながら、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を共有するとともに、受け身の特徴やきまりを理解する。 ④最近買ったものについて、マッピングを再構築し、再度、ペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>
4	<p>■教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。 ②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。 ③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。 ④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>
5	<p>■教科書本文を読み、その内容に関する考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。 ②教科書本文の内容やそれに関する自分の考えなどをマッピングし、ペアで伝え合う。 ③教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する。 ④教科書本文の内容に関して、マッピングを再構築し、再度、別のペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合った内容を踏まえ、自分の考えなどを書く。</p>
7	<p>■尊敬する人物について、考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする。</p> <p>①尊敬する人物についてマッピングする。 ②マッピングを基に、ALT とやり取りする。 ③自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>

単元における指導の進め方

単元終末のパフォーマンステストに向けて、毎時間繰り返し「考えなどを整理して伝えたり、伝えた内容に対して対話を広げたりする」言語活動を設定しています（緑の網掛け）。言語活動と指導を繰り返しながら、「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」を高めていきます。

単位時間の授業における指導の進め方

単位時間の授業においても、言語活動と指導を繰り返し、「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」を高めていきます（ピンクの枠囲み）。

「質問をしたり答えたりしながらやり取りする力」が身に付いたか確認するために、単元末や後日に、学んだことを再度活用する場面を設定します（青の網掛け）。

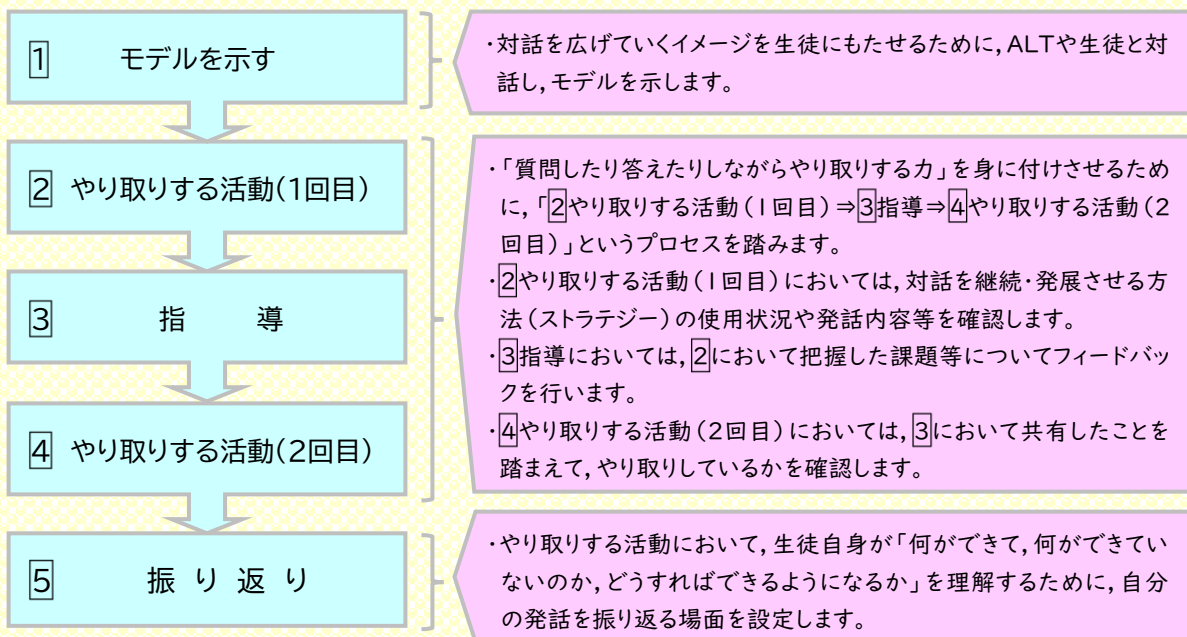
【資料1 指導の進め方】

(2) 帯活動における指導の工夫

本単元では、「質問したり答えたりしながらやり取りする力」を身に付けさせるために、帯活動を設定し、ペアで*やり取りする活動を毎時間継続して行います。帯活動を行う際は、生徒が関心を示す身近な話題に関するトピックを取り上げたり、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を示したりするなど、手立てを工夫することが大切です。帯活動における指導の工夫を以下に示します（資料2）。

※ここでの「やり取りする活動」とは、やり取りする言語活動と表現を定着させるための練習（ドリル）を示します。

① 帯活動の進め方



やり取りする活動のみに終始せず、生徒の学習状況に応じてモデルを示したり、振り返りの場面を設定したりするなど、工夫するとよいでしょう。



② トピックの設定

やり取りする活動においては、適切なトピックを設定することが重要です。身の回りのことで生徒が共通して関心をもっていることや生徒自身に関わること、多様な考え方や立場を共有できることなどがよいでしょう。また、本当に相手に分かってほしいと思っていることを伝え合い、質問し合えるようなトピックを設定することが大切です。

③ 即興性を重視

やり取りする活動においては、即興性を重視し、事前に文章を書かせて練習させたり覚えさせたりしないようにしましょう。自分の考えなどを短時間で構成して伝え、質問に応答することができるように、簡単なメモ程度のマッピングなどを活用するとよいでしょう。

④ 対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）の提示

やり取りする活動においては、1往復程度の対話で終わってしまわないように、対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を生徒に示します。対話を継続・発展させる方法をワークシートで示したり、教師自身がモデルを示したりして（[次頁資料3](#)）、実際のコミュニケーションにおいてそれらを活用できるよう指導することが大切です。帯活動で用いたワークシートの一部を以下に示します。

対話を継続させよう！

対話を継続させる方法を紹介するよ。実際に友達や先生と英語で話すときに積極的に使ってみよう！



方法その1

相手の言ったことに**反応**する(相づちを打つ)。

例) A: Look at this picture. This is Ariana Grande. I like her very much.
B: Me too. I think she is the best singer in the world.

○使ってみよう！

(1)	Uh huh.	(6)	Really?
(2)	Me too.	(7)	Sure.
(3)	Me neither.	(8)	That's right.
(4)	I think so.	(9)	Are you sure?
(5)	I don't think so.	(10)	Go on. Tell me more.

方法その2

相手に**確認**する(聞き返す)。

例) A: Look at this picture. This is Ariana Grande. Do you know her?
B: Ariana Grande? No, I don't know her.

※相手の言ったことを**繰り返す**ことで、相手が伝えたいことを確認することができます。また、相手が伝えたいことが分からなかったときは、**聞き返したり**分からなかったことを素直に伝えたりしましょう。

○使ってみよう！

(1)	What is ~?	(4)	Can you speak slowly?
(2)	What does ~ mean?	(5)	Do you mean ~?
(3)	Can you say that again?	(6)	Sorry, I don't understand.

方法その3

考えや感想、**コメント**を言う。

例) A: Look at this picture. This is Ariana Grande. I like her very much.
B: Me too. I think she is the best singer in the world.

方法その4

内容に関連した**質問**をする。

例) A: Look at this picture. This is Ariana Grande. I like her very much.
B: Me too. I think she is the best singer in the world. What is your favorite song?
A: Well, I like "Thank U, next."

【資料2 帯活動における指導の工夫】

(3) Interactive Teacher Talk の工夫

本時の言語活動等①「教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える」における Interactive Teacher Talk の具体例を示します(資料3)。対話を広げていくイメージを生徒にもたせるために、教師自身がモデルとなり、生徒に対話を継続・発展させる方法(ストラテジー)を示します。

対話を継続・発展させる方法(ストラテジー)

①生徒の応答を受けて**相づち**を打ったり、**質問**したりしてやり取りを継続させます。


②生徒の発話を**繰り返して**確認します。

③やり取りを中断しないように、文で応答するように促します。


④生徒に質問する前に、モデルとして教師自身のことを話します。

⑤生徒が英語で伝えられなかった表現を英語で繰り返します。


【教師と生徒とのやり取り】




Everyone, look at this picture. Do you know him?




①That's right! Why do you know him?




②Oh, you like him? What song do you like?




③I like ...?




Me too.
④I like it because it tells us the importance of love and peace. Why do you like it?




I see. ⑤This song makes you happy. Thank you, Kota.
Everyone, David Wonder is a great singer. His songs are loved by many people all over the world. He wrote a lot of wonderful songs that make people happy.
In this Unit, we learn about his life.




David... David Wander!




He is ... famous singer ... in the U.S. I like him very much.



Bridge.




I like Bridge.



Because ... when I listen ... to this song, 元気になります。

【資料3 Interactive Teacher Talk の具体例】

教師が生徒とのやり取りの中で、自分の考えや感想を伝えたり、質問したり、確認したりして、対話を継続・発展させる方法(ストラテジー)を示すことが大切です。



(4) 対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）についての気づきを促す指導の工夫

本時の言語活動等③「教科書本文に用いられている対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）を確認する」における、生徒1が教科書本文の対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）に下線を引いた例（資料4）と教師と生徒とのやり取りの一部（資料5）を示します。生徒自身が対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）の有用性に気づき、意識的に使用することができるよう指導することが大切です。

アン(Ann)が尊敬する人物についてケン(Ken)に話しています。

Ann: Look at this picture. This is the person I respect. Do you know him?
Ken: No, I don't. Who is he? 【質問】
Ann: He is David Wander.
He is a famous singer in the U.S.
Ken: Oh, he is a famous singer. 【繰り返し】
Ann: Right. 【相づち】 His songs are loved by people all over the world.
He tells us the importance of love and peace through his songs.
Ken: Oh, I see. 【相づち】 I will check him out on the internet.



【資料4 生徒1が教科書本文の対話を継続・発展させる方法（ストラテジー）に下線を引いた例】

【教師と生徒とのやり取り】

Can you tell us the sentence you underlined and the reason you chose it?

2行目の“Who is he?”に線を引きました。“No, I don't.”で会話を終わらせずに、質問をして会話を続けています。

Well noticed!
内容に関連する質問をすることで、対話を継続させていますね。

それから5行目の“Oh, he is a famous singer.”に線を引きました。
4行目でアンが言ったことを繰り返ししています。

Right. Why do you choose the sentence?

アンが言ったことを繰り返しして、話の内容を確認していると思ったからです。

I see. 相手の言ったことを繰り返しすることで話の内容を確認することができるということですね。

私も同じ文に線を引きました。私は、アンが言ったことを繰り返しすることで、「あなたの言っていることを理解しているよ」と、ケンが伝えているのかなと思いました。

Interesting! 聞き手が理解していることを示してくれると、話し手は安心して会話を続けることができますね。

【資料5 教師と生徒とのやり取りの一部】

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストする
必要があります。ここでは、そのための評価問題や採点の基準の例などを示します。



(1) 単元終末のパフォーマンステスト(ALTと尊敬する人物について伝え合う「話すこと[やり取り]」)

「質問したり答えたりしながらやり取りする力」を見取るために、尊敬する人物についてALTとやり取りするパフォーマンステストを設定しています(資料6)。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を一体的に見取る評価問題です。

【指示文】

ALTの先生があなた達のことをもっとよく知るために、それぞれが尊敬する人物について教えてほしいと言っています。ALTの先生に尊敬する人物について紹介し、その人物についてやり取りしてください。簡単なメモやマッピングを用いてもかまいません。

【資料6 評価問題】

① 採点の基準の例

「思考・判断・表現」においては、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を設定しました(資料7)。その上で、パフォーマンステスト(「話すこと[やり取り]」)の判定基準(ルーブリック)(資料8)を作成し、各観点において評価することとしました。

【条件1】：尊敬する人物に関する事実や考え、気持ちなどを簡単に整理して伝えている。

【条件2】：ALTからの質問に対して適切な内容で答えたり、内容に関連のある質問をしたりしている。

【条件3】：対話を継続・発展させる方法(ストラテジー)を用いてやり取りしている。

【資料7 「思考・判断・表現」(表現内容の適切さ)を評価するための条件】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たしてやり取りしている。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

【資料8 パフォーマンステスト(「話すこと[やり取り]」)の判定基準(ルーブリック)】

② 生徒のやり取り例及び評価結果



【やり取り例】

ALT : Could you tell me the person you respect?
 Student A: I respect ... Ohtani Shohei. He is a Japanese major leaguer. He belong to the Los Angeles Angels. [条件1]
 Do you know him? [条件2]
 ALT : Of course, I know him. He is very popular in the U.S. Why do you respect him?
 Student A: Because ... he is good pitcher ... and good batter. [条件2]
 〈中略〉
 ALT : He took MVP this year. I think he is a great baseball player. Why could he take MVP?
 Student A: Why..... Could you say that again? [条件3]
 ALT : Ohtani Shohei took MVP this year, right? Why could he take MVP?
 Student A: Why could he take MVP? [条件3]
I think ... he practice baseball very hard. [条件2]

※下線部は誤りのある英文

【判定基準(ルーブリック)に基づく分析結果】

※実際の分析は JTE と ALT が行っています。

【知識・技能】
 ・三人称単数現在時制や冠詞の誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話している。

【思考・判断・表現】
 ・尊敬する人物について事実を述べているが、自分の考えや気持ちなどは述べていない。
 ⇒ [条件1] を満たしていない。
 ・ALT からの質問に対して適切な内容で答えたり、内容に関連のある質問をしたりしている。
 ⇒ [条件2] を満たしている。
 ・分からないことを聞き返したり、確認したりしている。
 ⇒ [条件3] を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】
 ・パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c	b	b	b
判断した理由	一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	条件1 を満たしていないが、条件2, 3 を満たしてやり取りしている。	条件1 を満たしていないが、条件2, 3 を満たしてやり取りしようとしている。

生徒 B



【やり取り例】

ALT	:	Could you tell me the person you respect?
Student B:		I respect Ikeda Manabu. He is a famous artist. Look at this picture. It's drawn by Ikeda Manabu. Isn't it great? I think he is the best artist in Japan. 【条件1】
ALT	:	I see. Wow, it's very beautiful. Does he use brushes when he draws pictures?
Student B:		No, he doesn't. He uses only pens. 【条件2】
ALT	:	Only pens? Unbelievable!
Student B:		Everyone says so. 【条件3】 Do you like his picture? 【条件2】
ALT	:	Yes, he's very delicate with his drawings. I want to see other pictures of Ikeda Manabu.
Student B:		Well, then how about going to Saga Prefectural Museum? 【条件3】 You can see his pictures there.
ALT	:	Oh, really? I want to go there. Where is Saga Prefectural Museum?
Student B:		Let's see, do you know Saga Nishi High School? (ALT の反応を確認してから) It's near there. 【条件2】 【条件3】
ALT	:	Thank you. I'll visit there next Sunday.

【判定基準(ルーブリック)に基づく分析結果】

※実際の分析は JTE と ALT が行っています。

【知識・技能】	・ 全て正しい英文で話している。
【思考・判断・表現】	・ 尊敬する人物に関する事実や考えなどを簡単に整理して伝えている。 ⇒ 【条件1】 を満たしている。
	・ ALT からの質問に対して適切な内容で答えたり、内容に関連のある質問をしたりしている。 ⇒ 【条件2】 を満たしている。
	・ 相づちを打ったり、つなぎ言葉を使ったり、相手に提案したりしている。 ⇒ 【条件3】 を満たしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	・ パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、 【思考・判断・表現】 と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c	a	a	a
判断した理由	誤りのない正しい英文で話すことができる。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。